

# 第 11 回通常社員総会議案書

- 第 1 号議案 2023 年度事業報告(案)について
- 第 2 号議案 2023 年度決算報告(案)・監査報告について
- 第 3 号議案 2024 年度事業計画(案)について
- 第 4 号議案 2024 年度収支予算(案)について
- 第 5 号議案 役員体制について

2024 年 5 月 27 日 16 : 00～16 : 40  
一般社団法人日本電子デバイス産業協会





一般社団法人日本電子デバイス産業協会 2023 年度事業報告(案)  
(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

一般社団法人日本電子デバイス産業協会

2023 年度の世界経済は、ウクライナ問題が継続、中東情勢の緊迫化と地政学的なリスクが継続し、それに伴うサプライチェーンの混乱などで景気回復は思わしくない先行き不透明な状況が続きました。

一方、電子デバイスを取り巻く市場は、車載向けデバイス需要は堅調、パソコン、スマホ向けの需要は調整局面となりましたが、年後半には生成 AI の活用向けのデータセンター向け需要増なども見られるようになり、電子デバイス産業は悪化から回復に転じる期待が出てきました。

こういった中で NEDIA は 10 周年を迎え、「第 10 回電子デバイスフォーラム京都」、「第 10 回通常社員総会」、「2024 年新春セミナー・新年会」において 10 周年記念イベントを開催しました。また、「電子デバイス戦略マップ 2023-2024」の発刊及び説明会を実施、電子デバイス研修講座を WEB 配信併用で実施などチャレンジングな施策を実行するとともに、「NEDIA Day 東北ふるかわ」「NEDIA Day 九州くまもと」などのセミナーを開催し、会員支援及び産業界支援につながる諸施策を推進しました。また、NEDIA マガジンの発刊等の会員のコミュニケーションを図る施策を推進しました。

会員の皆様のご支援・ご協力により、以上のイベントを着実に実施するとともに、会員規模も、2013 年 9 月 30 日のスタート時の 198 会員から 259 会員(2024 年 3 月 31 日現在)に増加しました。

## 1. 「第 10 回電子デバイスフォーラム京都」を開催

2023 年 10 月 23 日(月)、10 月 24 日(火)に京都リサーチパーク(KRP)において、「アフターコロナ新時代の半導体/電子部品の飛躍戦略を探る!!」をキャッチフレーズとして、10 回目の記念大会となる「第 10 回電子デバイスフォーラム京都」を開催しました。

今回は、第 10 回記念大会ということで、レセプションにおいて、鏡開きを行うとともに、例年行っている舞妓の舞も三味線の伴奏つきで行いました。また、基調講演の前に 10 周年記念講演として松波弘之京都大学名誉教授にご講演いただきました。また今回は、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー殿から「京都市 MICE 開催支援助成金」「京都らしい MICE 開催支援補助制度」の交付を受けて実施しました。

新型コロナウイルスは 5 類移行ということで会場の定員等は通常に復帰していますが、遠隔地からの参加の利便を考慮し、昨年度に引き続き WEB 配信併用という形での開催となりました。

昨年に引き続き中会議室 A において「車載電子デバイスパビリオン」を企画し、また、「マーケティングセッション」も継続して実施し、WEB 参加も含め参加者 340 名(第 9 回：320 名、第 8 回：290 名)、延セッション参加数 1260 名(第 9 回：1,120 名、第 8 回：970 名)と昨年、一昨年を大きく上回り過去のピークに迫るたくさんの方に参加いただき開催できました。

参加者の交流を深めるレセプションを昨年に引き続き開催し、多くの方に参加いただき盛況でした。10 回記念大会ということもあり、鏡開き及び舞妓の舞も充実して実施しました。

参加いただいた会員、電子デバイス関連産業の方々、また、プログラム策定、プロモート及びセッション等の運



営にご尽力いただいたプログラム委員及びボランティア各位に感謝申し上げます。以下に、「第10回電子デバイスフォーラム京都」の開催報告をします。

## (1) 開催概要

- ①開催日時：2023年10月23日(月)10:00-10月24日(火)17:30
- ②場所：京都リサーチパーク(KRP)  
東地区1号館4階：サイエンスホール、G会議室、中会議室A、B、C、ホワイエ、KISTIC2階：イノベーションルーム、アトリウム、西地区4号館B1：バズホール、バンケットホール 6会場、セッション数：17、講演数：51、展示ブース数：19、ポスター展示：2と昨年と同規模で実施しました。
- ③「車載電子デバイスパビリオン」：昨年に引き続き、中会議室Aにおいて、(株)村田製作殿のご協力により種々の自動車・電動バイクに搭載の電子デバイス等を展示しました。
- ④セッションごとに作成している17冊の予稿集について、昨年に引き続きカラー印刷とし参加者の便宜を図りました。また、昨年に引き続きWEB併用としました。
- ⑤今回は10回記念大会であり、レセプションでの鏡開き及び舞妓の舞の実施及び基調講演での10周年記念講演を実施しました。

## (2) 挨拶・基調講演、マーケティングセッション等

- ①挨拶・基調講演は10月23日(月)10:00から西地区4号館B1バズホールで実施しました。昨年に引き続き9:30からウエルカムコーヒーをバンケットホールに準備し、参加者に利用いただきました。
- ②挨拶・基調講演は司会を中村孝氏(NEDIA 理事、プログラム委員長、大阪大学)が務め、齋藤昇三 NEDIA 代表理事・会長、組織委員長の開会挨拶で始まりました。冒頭の来賓ご挨拶で、山下晃正 京都府副知事、門川大作京都市長にお言葉をいただきました。ご来賓挨拶のあとに10周年記念講演として、京都大学名誉教授の松波弘之先生から「SiC パワー半導体の基礎技術確立と社会実装への道」と題し、ご講演いただきました。基調講演は、最初に Rapidus(株)の折井靖光 専務執行役員 3D アセンブル本部長に「チップレット時代における半導体パッケージ革命」と題しご講演いただきました。続いて京都企業代表として(株)SCREEN セミコンダクターソリューションズの後藤正人 代表取締役 社長執行役員に「100兆円半導体市場を迎えて～製造装置メーカーの展望～」と題しご講演いただきました。最後に「これが異次元段階に突入した電子デバイスの未来像だ！」と元気の出るテーマで(株)産業タイムズ社の泉谷 渉 代表取締役会長にご講演いただきました。  
会場 200名、WEB参加を含めて 230名を超える多数の参加者に熱心に聴講いただきました。
- ③マーケティングセッションは、第4回から引き続き独立したセッションとして10月24日(火)9:20から東地区1号館4階のサイエンスホール及びG会議室(サテライト)を会場として実施しました。電子デバイス分野における第1線でご活躍のアナリスト3名の特別講演で構成し、会場で200名、WEB参加も含めて230名を超える多数の参加者で熱気のあるセッションとなりました。  
最初に「市況悪化と次の成長フェーズの双方に直面する半導体・装置・電子部品業界」と題し中村 剛 (株)産業タイムズ社 大阪支局長 電子デバイス産業新聞 副編集長にご講演いただき、続いて、「2024年度以降の電子機器・半導体市況～新たな半導体時代の始まり～」と題し、南川 明 インフォーマインテリジェンス合同会社 C&D コンサルティングにご講演いただき、最後に、「フラットパネルディスプレイ・スマホなど完成品業界見通し：24年、スマホやPC需要は回復するのか。技術変化や今後の注目点は何か？」と題し、中根康夫 みずほ証券(株) エクイティ調査部 グローバル・ヘッド・オブ・テクノロジー・リサーチ/シニアアナリストにご講演いただきました。
- ④A～Eの5コースのセッションを、10月23日(月)午後、10月24日(火)午後に合計15セッションで構成し、

参加者それぞれに興味あるセッションを聴講いただきました。A コースは「環境エネルギー」をテーマに「環境エネルギー動向」、「次世代モビリティ」、「パワーデバイスと周辺技術」の3セッション、B コースは「新時代のデジタル～量子の幕開け～」をテーマに「新時代デジタル動向」、「量子コンピュータ(最新動向)」、「量子コンピュータ(関連技術)」の3セッション、C コースは「The 半導体」をテーマに「半導体の市場・技術動向」、「装置技術・プロセス技術」、「デバイス技術・応用技術」の3セッション、D コースは「跳躍の最先端パッケージ・実装技術」をテーマに「最新のパッケージ・実装技術動向」、「シリコンフォトニクス・コパッケージ・ $\mu$ LED」、「高密度実装」の3セッション、特別セッションは、産学連携の「大学セッション：マテリアル先端リサーチインフラ」、「ChatGPTの社会インパクト」、「中・韓・印 アジア半導体産業の最前線を追う！」の3セッションとしました。

15セッションのうちWEB参加も含めた聴講者の多い順は、①「装置技術・プロセス技術」、②「半導体の市場・技術動向」、③「最新のパッケージ・実装技術動向」、④「パワーデバイスと周辺技術」、⑤「デバイス技術・応用技術」⑥「高密度実装」であり、世の中の動向と参加いただいた方の興味がどこにあるかが伺えます。

### (3) レセプション

昨年に引き続きレセプションを、10月23日(月)

17:00-18:30にアトリウムで開催しました。

今回は10回の記念大会であり、鏡開きを行うとともに、例年行っている舞妓の舞を通常より拡充した形で行い、150名を超える参加を得て、久しぶりに対面によるコミュニケーションの機会となった方も多く、いい雰囲気のレセプションとなりました。

司会は泉谷 NEDIA 理事・副会長が務め、17:00に開始しました。主催者挨拶を齋藤昇三 NEDIA 代表理事・会長が行い、続いて特別参加の駐日インド大使のご挨拶がありました。京都企業代表として、後藤正人 (株)SCREEN セミコンダクターソリューションズ 代表取締役 社長執行役員のご挨拶があり、その後に、10回大会を記念して鏡開きを行いました。鏡開きは、齋藤昇三 NEDIA 代表理事・会長、後藤正人 (株)SCREEN セミコンダクターソリューションズ 代表取締役 社長執行役員、岩坪浩 (株)村田製作所 専務執行役員、小石秀之 (株)堀場製作所 取締役、中村孝 NEDIA 理事・プログラム委員長にインド大使を加えた6人で行い、その後に乾杯を西村治之 ローム(株) イノベーション推進室 エグゼクティブアドバイザーが行い、交流の場が始まりました。

17:30頃から舞妓さん2名に芸妓さん1名による、三味線が入った舞で、華やかな雰囲気となり、舞台の前が観賞及び写真撮影の場となりました。舞の終了後、舞妓さんは会場を回り参加者と写真を一緒に撮ったりしました。その後、司会の指名で、仲條 日本貿易振興機構 理事、張 華為技術日本(株) 渉外・広報本部 提携・渉外チーム 担当部長、安部 TANAKA ホールディングス(株) サステナビリティ・広報本部 広報・広告部 副部長、小関 山口県庁 産業労働部 部長のご挨拶がありました。最後に、岩坪 NEDIA 理事・副会長、(株)村田製作所 取締役 専務執行役員の締めの挨拶があり、レセプションはお開きとなりました。終了後、知己の





方同士で、京都の街に繰り出すグループも見られました。

#### (4) 展示会

展示会は、ホワイエ及び中会議室 A でおこないました。ホワイエは昨年と同様に 15 ブースとし、ゆったりした配置で開催しました。中会議室 A では昨年に引き続き「車載電子デバイスパビリオン」を開催しました。

##### ① 展示参加会社：10 企業・団体、4 大学(50 音順)

(株)アスカインデックス、エヌディアイ(株)、(株)SCREEN セミコンダクターソリューションズ、  
フジアルテ(株)、(株)堀場製作所、(株)村田製作所、山口県、ユナイテッドプレジジョンテクノロジーズ(株)、  
リソテックジャパン(株)、ローム(株)、  
大阪大学、京都大学、奈良先端科学技術大学院大学、山形大学

##### ② ポスター展示は 2 企業・団体

野村マイクロ・サイエンス(株)

NEDIA 戦略マップ委員会(電子デバイス戦略マップ 2023-2024)

#### (5) アンケート結果

①フォーラムの全体的な構成について：プログラムは時流に合っている 33%、プログラムは全体的に満足できる 58%と合わせて 91%と多くの参加者の評価をいただきました。

②フォーラムの運営について：良い 46%、まあまあ 31%と、まずまずの評価をいただきました。

③ 次回についての参加について：是非参加したい 31%、プログラムが良ければ参加したい 34%と合わせて 65%の方は再び参加いただけるとの感触を得ました。さらに昨年も参加したが 23%であり、次回への参加も期待できると思われれます。

## 2. 「電子デバイス戦略マップ 2023-2024 未来社会の実現につなげる技術」を発行

### 「電子デバイス戦略マップ 2023-2024 説明会」を実施

戦略マップ委員会(委員長：齋藤昇三 代表理事・会長)において、2016 年度に「NEDIA 戦略マップ 2015」、2017 年度に「NEDIA 戦略マップ 2017」、2018 年度に「電子デバイス戦略マップ 2018」、2019 年度に「電子デバイス戦略マップ 2019」、2020 年度は「電子デバイス戦略マップ 2020-2021」、2021 年度は「電子デバイス戦略マップ 2021-2022」、2022 年度は「電子デバイス戦略マップ 2022-2023」と 7 冊を発刊してきました。

2023 年度は 8 冊目となる「電子デバイス戦略マップ 2023-2024」(A4 版 158 ページの冊子)を 未来社会の実現につながる技術 をテーマにまとめ、2023 年 7 月 20 日に発刊しました。前回と同様、書籍コードを登録し正規の書籍とし、アマゾンでも販売しました。各会員に 1 冊を無償配布し、その後、会員(1,500 円：税込み)及び非会員(4,070 円：税込み)に有償頒布しました。

会員等への無償頒布：400 部、会員・非会員への有償頒布：115 部の計 515 部を頒布しており、会員及び電子デバイス産業の関係者の考慮の一助になったと考えています。



電子デバイス戦略マップを広く活用いただくためには、内容について説明会を開催したが効果的との観点から、昨年度に引き続き説明会を開催しました

### 「電子デバイス戦略マップ 2023-2024」説明会 ～未来社会の実現につなげる技術～

開催日時：2024年1月15日(火)13:00-17:00 開催場所：学士会館 203号室

参加費：NEDIA 会員 3,000 円、一般 7,000 円（電子デバイス戦略マップ 2023-2024 1 冊含む）

参加者：38 名

<説明会>

司会：戦略マップ委員会事務局員 松本 哲郎

①13:00-14:25 「電子デバイス戦略マップ 2023-2024 で考える未来社会の実現につなげる中核技術」

NEDIA 代表理事・会長、戦略マップ委員長 齋藤 昇三 氏

戦略マップ委員会事務局員、戦略マップ主筆 松本 哲郎 氏

14:25-14:40 休憩

②14:40-15:50 「半導体復活を目指す人材戦略

—高等教育とリスキリングでスキルを可視化—

戦略マップ委員会 副委員長、情報経営イノベーション専門職大学 客員教授 石原 昇 氏

③15:50-17:00 「残された強み、パワー半導体戦略」

戦略マップ委員会 副委員長、三菱電機㈱ パワーデバイス製作所

主席技師長 寺島 知秀 氏

### 3. 「電子デバイス研修講座(入門編)(基礎編)(中級編)(専門編)」を開催

人材育成研修委員会(委員長：西村光太郎 理事)において、2019年秋季に電子デバイス研修講座(基礎編)を立ち上げ、2020年秋季に(中級編)を立ち上げ、2021年には秋季に(専門編)①②③を立ち上げ、2022年度には秋季に(入門編)を立ち上げ、体系的には完成となりました。新型コロナウイルス感染拡大への対応、遠隔地からの参加の利便を図るために、2021年度から会場とWEB参加を併用して実施しており、2023年度も引き続きWEB併用を実施しました。

2023年度春季講座(基礎編)(中級編)の参加者数が少なかったため、2023年度の後半の講座については、比較的参加者が見込める(入門編)、(専門編)パワーエレクトロニクスの開催としました。

#### (1) 2023年度春季講座

##### ①「電子デバイス研修講座(入門編)」

開催日時：2023年5月31日(水)10:00-17:00

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 飛鳥の間 WEB配信併用

参加者：33名

##### ②「電子デバイス研修講座(基礎編)」

開催日時：2023年5月30日(火)10:00-17:00、31日(水)10:00-17:00(二日間)

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 光琳の間 WEB配信併用

参加者：20名

##### ③「電子デバイス研修講座(中級編)」

開催日時：2023年5月30日(火)10:00-17:00、31日(水)10:00-17:00(二日間)

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 芙蓉の間 WEB 配信併用

参加者：14名

## (2) 2023年度後期講座

### ①「電子デバイス研修講座(入門編)」

開催日時：2023年9月15日(金)10:00-17:00

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 光琳の間 WEB 配信併用

参加者：21名

### ②「電子デバイス研修講座(専門編)パワーエレクトロニクス」

開催日時：2023年11月7日(火)10:00-17:00

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 光琳の間 WEB 配信併用

参加者：20名

### ③「電子デバイス研修講座(入門編)」

開催日時：2024年2月7日(水)10:00-17:00

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 光琳の間 WEB 配信併用

参加者：16名

## 4. 展示会への出展

展博委員会(委員長：井内伸哉(株)インターテック販売 顧問)で「第10回電子デバイスフォーラム京都」の展示(1.(4)項参照)を行いました。

また、Medtec Japan 2023 及び SEMICON Japan 2023 に出展しました。

### ①「Medtec Japan 2023」に出展

開催日：2023年4月19日(水)～21日(金)

場所：東京ビッグサイト東2ホール No.3505(2小間)

会員のポスター展示：3社

### ②「SEMICON Japan 2023」に出展

開催日：2023年12月13日(水)～15日(金)

場所：東京ビッグサイト東7ホール No.7923(3m×3m)

会員のポスター展示：4社

## 5. 部会・地域活動

### (1) ベンチャー部会(部会長：押部弘 理事・副会長)

経済産業省のご協力を得て令和6年度予算・関連施策についての説明会をWEB配信で行いました。NEDIA ゴルフコンペを2回実施し、ベンチャー部会研究会、納涼会も開催しました。

### ①「第7回ベンチャー部会研究会」を開催

開催日時：8月7日(月)15:00-17:00

開催場所：学士会館302号室



15:00-15:05 開会挨拶 NEDIA ベンチャー部会 部会長 押部 弘

15:05-16:05 「オープンイノベーションの動向と JOIC の事業概要(仮題)」  
NEDO オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会(JOIC)事務局

16:05-16:55 「半導体ビジネスとムーアの法則」  
東北マイクロテック(株) 代表取締役 本吉 真氏

参加者数：33名

## ② 「納涼会」を開催

開催日時：8月7日(月)17:00-18:30

開催場所：学士会館 301 号室

参加費：6,000 円

今回は「10周年記念サマーフェスタ」の意味合いと4年ぶりの開催で、あまり密集しない環境で多数の参加者のコミュニケーションを図ることを目的とする。昨今の物価上昇により、参加費はこれまでの4,000円では困難であり、今回は6,000円で行いました。

参加者数：36名

## ③ 「NEDIA 第9回ゴルフコンペ」を開催

開催日：2023年9月29日(金)

開催場所：武藏丘ゴルフコース

スタート時間：9:10 Out コース 2組 9:10 In コース 2組

プレー料金：キャディ付き食事別 ¥18,500

+ パーティ費および表彰商品代 ¥4,000

参加資格：NEDIA 会員 または、NEDIA 会員推薦者

参加者数：4組 16名

## ④ 「令和6年度政府予算・関連施策 説明会及びJST 事業化支援 説明会」を開催

開催日時：2024年3月7日(木)10:00-12:00 Web 開催

参加資格：NEDIA 会員

参加費：無料

プログラム

10:00-11:00

第1部 「令和6年度政府予算・関連施策 説明会」

説明者：経済産業省 商務情報政策局

情報産業課 デバイス・半導体戦略室 課長補佐 石川 雄太郎 氏

11:10-11:50

第2部 「JST 支援事業「研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)」の説明」

説明者：国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

スタートアップ・技術移転推進部 研究支援グループ 副調査役 二階堂 知己 氏  
実装支援グループ 主査 大下内 和也 氏

参加者数：28名。

## ⑤ 「NEDIA 第10回ゴルフコンペ」を開催

開催日時：3月29日（金）

開催場所：富士箱根カントリークラブ(fujihakone-cc.com)

スタート時間：9時32分 Out コース 3組 In コース 2組

プレー料金（各自精算）：キャディ付き食事付 ¥13,200

+ パーティ費および表彰商品代 ¥4,000 円

参加者数：5組 17名

今回は10回記念大会につき、優勝記念トロフィを準備。

## （2）装置・保守部会（部会長：南洋一 理事・副会長）

交流会を開催し、部会員会社のコミュニケーションの向上を図るために、装置・保守部会交流会の開催を検討したが、開催まで至りませんでした。

## （3）材料部品部会（部会長：佐藤中則 理事）

勉強会を4回開催し、会員が必要とする情報を幅広い講師に依頼して実施しました。

### ①「第39回材料部品部会勉強会」を開催

開催日時：6月26日(月)14:30-16:40

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 光琳の間

14:30-15:30 「2023年以降の世界半導体市場の動向と注目すべきトレンド  
～深刻化する米中半導体対立～」

インフォマインテリジェンス合同会社 シニアコンサルティングディレクター 南川 明 氏

15:40-16:40 「NVIDIAの時価総額は1兆ドル突破、資本市場から見た半導体業界の行方」

株式会社東海東京調査センター 企業調査部 シニアアナリスト 石野 雅彦 氏

参加者数：56名

### ②「第40回材料部品部会勉強会」を開催

開催日時 2023年9月25日（月）14:00～16:00

開催場所 御茶ノ水めつきセンター4F会議室

14:00-15:00 「シリコンフォトニクス技術の開発状況と産業展開に向けたR&Dエコシステム」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 プラットフォームフォトニクス研究センター

シリコンフォトニクスチームリーダー 山田 浩治 氏

15:10-16:00 「電子デバイス戦略マップより、マテリアル技術と

新材料技術のこれからの展開について」

NEDIA 戦略マップ委員会 委員

松本 哲郎 氏

参加者数：19名。

### ③「第41回材料部品部会勉強会」を開催

開催日時 2023年12月4日(月)14:00～16:00

開催場所 日本教育会館9階（喜山倶楽部 光琳の間）

14:00-15:00 「再始動する半導体市場」

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

インベストメントリサーチ部 シニアアナリスト 和田木 哲哉 氏

15:10-1600 「生成 AI や ADAS が先端半導体開発・投資をけん引する」

株式会社東海東京調査センター企業調査部シニアアナリスト

石野 雅彦 氏

参加者数：62名。

#### ④「第42回材料部品部会勉強会」を開催

開催日時：2024年3月18日（月）14:00～16:40

開催場所：日本教育会館9階（喜山倶楽部 光琳の間）

14:00-15:00 「新たな日本半導体産業クラスターの誕生！」

グローバルネット株式会社 代表取締役社長 武野 泰彦 氏

15:10-16:40 「半導体は今や戦略物資、世界チップ戦争が始まった！」

株式会社産業タイムズ社 代表取締役会長 泉谷 渉 氏

参加者数：66名。

#### (4) デバイス部会（部会長：周藤仁吉 常務理事・事務局長）

デバイス部会は、具体的テーマを策定して勉強会方式で課題に対する解及び新たな事業を見出すのを目的としており、2023年度は、AIをテーマに検討しましたが、目立った進展はありませんでした。

#### (5) 九州 NEDIA（代表：櫻井一郎 理事）

「NEDIA Day 九州くまもと」を開催しました。

#### 「NEDIA Day 九州くまもと」を開催

開催日時：2024年2月22日(木)セミナー：14:00-16:50 交流会：17:10-18:40

開催場所：熊本市国際交流会館6階ホール

熊本市中央区花畑町4-18

TEL：096-359-2020 URL：<https://www.kumamoto-if.or.jp/kcic/>

<後援>

後援：経済産業省九州経済産業局、熊本県

<セミナー> 6階ホール

司会 三宅賢治 氏(NEDIA 理事・九州 NEDIA 副代表)

14:00-14:05 開会挨拶

NEDIA 代表理事・会長

齋藤 昇三 氏

14:05-14:10 来賓ご挨拶 九州経済産業局 地域経済部 次長

平田 実 氏

14:10-14:55 「ソニーのイメージセンサー事業の展望」

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) 技監

中粉 晃弘 氏

15:10-15:15 来賓ご挨拶 熊本県 商工労働部 総括審議員 兼 産業振興局長 内藤 美恵 氏

15:15-16:00 「電子デバイスの成長へ貢献する HORIBA の計測・制御技術」

(株)堀場エステック 代表取締役社長

堀場 弾 氏

16:00-16:45 「九州シリコンアイランドは熊本をコアに一気拡大の機運

～車載、AI、低電力がキーワード～」

NEDIA 理事・副会長、(株)産業タイムズ社代表取締役会長

泉谷 渉 氏

16:45-16:50 閉会の挨拶

NEDIA 理事・九州 NEDIA 代表、櫻井精技(株)代表取締役社長

櫻井 一郎 氏

<交流会>

「ビュッフェ レストラン ぎんなん」

熊本城彩苑 桜小路(セミナー会場より5分くらい)

17:10-18:40 司会：櫻井 一郎(NEDIA 理事・九州 NEDIA 代表)

17:10-17:15 主催者挨拶・乾杯：代表理事・会長 齋藤 昇三 氏

参加者：セミナー：92名、交流会：70名。

(6) 関西 NEDIA (代表：中村 孝 理事)

関西 NEDIA では、2023 年度も第 10 回となる SSIS-NEDIA 関西シンポジウムを開催しました。

「第 10 回 SSIS-NEDIA 関西シンポジウム」を実施

開催日時：2023 年 8 月 31 日 (木) 13:00-18:30

開催会場：大阪大学中之島センター 7F セミナー室 7C,7D、9F サロン・アゴラ

大阪市北区中之島 4-3-53

主催：一般社団法人 半導体産業人協会 (SSIS)

一般社団法人 日本電子デバイス産業協会 (NEDIA)

司会：NEDIA 理事・関西 NEDIA 代表

中村 孝 氏

13:00 - 13:10 開会の挨拶 NEDIA 代表理事・会長

齋藤 昇三 氏

13:10 - 13:20 ご来賓挨拶 近畿経済産業局 地域経済部 次長

前原 誠 氏

13:20 - 14:20 講演 1 「減速から回復、再成長に向かう半導体市場の展望」

(株)産業タイムズ社 大阪支社 電子デバイス産業新聞 副編集長 中村 剛 氏

14:20-15:20 講演 2 「進化が止まらない半導体 ～製造装置メーカーの視点～」

(株)SCREEN セミコンダクターソリューションズ マーケティング部長 杉本 洋昭 氏

15:35 - 16:35 講演 3 「ハイテク市場の未来 ～高成長は約束されている～」

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券(株)

インベストメントリサーチ部 シニアアナリスト

和田木 哲哉 氏

16:35 - 16:45 閉会の挨拶 SSIS 理事長

野澤 滋為 氏

■ 「交流会」

17:00 - 18:30 9F サロン・アゴラ

参加者数：63名

(7) 東北 NEDIA (代表：川添良幸 理事)

アルプスアルパイン(株)の新しい仙台開発センター(古川)で「NEDIA Day 東北ふるかわ」を開催しました。

「NEDIA Day 東北ふるかわ」を開催しました。

開催日時：7 月 12 日(水)13:00-16:20

開催場所：アルプスアルパイン(株) 仙台開発センター(古川)

後援：東北経済産業局

司会：NEDIA 理事・東北 NEDIA 副代表、アルプスアルパイン(株) 執行役員

コンポーネント 2 事業担当 兼 技術副担当

相原 正巳 氏

13:00-13:05 開催挨拶 NEDIA 理事・東北 NEDIA 代表

東北大学未来科学技術共同研究センター シニアリサーチ・フェロー

川添 良幸 氏

来賓ご挨拶 東北経済産業局 地域経済部長

小林 和昭 氏

来賓ご挨拶 独立行政法人製品評価技術基盤機構 理事長

長谷川 史彦 氏

来賓ご挨拶 大崎市長

伊藤 康志 氏

13:10-14:00 「東北大学における半導体・MEMSの歴史、試作コインランドリー」

東北大学 名誉教授、(株)メムス・コア CTO

江刺 正喜 氏

14:00-14:20 「ものづくり中小企業の産学連携活用事例」

(株)ティ・ディ・シー 代表取締役 社長

赤羽 優子 氏

14:20-15:10 「Alps Alpineにおける今後の車載事業開発戦略と東北地域産学活性化活動状況」

アルプスアルパイン(株) 代表取締役 社長 CEO 兼 技術担当

泉 英男 氏

15:25-16:15 「半導体、電子部品関連の大型設備投資は今や北に向かっている！

～人材、用地、大学のすべてで東北、北海道の新時代到来～

NEDIA 理事・副会長、(株)産業タイムズ社 代表取締役会長

泉谷 渉 氏

16:15-16:20 閉会の挨拶 NEDIA 代表理事・会長

齋藤 昇三 氏

<交流会>

開催日時：7月12日(水)16:50-18:10

開催場所：アインパルラ浦島

仙台開発センターから交流会場はマイクロバスで移動

司会：NEDIA 理事・副会長

泉谷 渉 氏

開会挨拶(乾杯) NEDIA 理事・東北 NEDIA 副代表、アルプスアルパイン(株) 執行役員

コンポーネント2 事業担当 兼 技術副担当

相原 正巳 氏

締めの挨拶：NEDIA 理事・副会長

押部 弘 氏

18:15～ 交流会場から JR 古川駅までマイクロバスで送迎

上り東京行き 18:56、19:45

下り盛岡行き 18:43、19:44

参加者数：134名 交流会：95名

## 6. 委員会活動

### (1) アクションセミナー委員会 (委員長：齋 秀樹(株)産業タイムズ社)

平日の夕方に開催し主として関東の会員に情報を提供するためにアクションセミナーを企画し、注目市場について、アクションセミナーを2回開催しました。

#### ① 「第34回アクションセミナー」を開催

開催日時：6月2日(金)17:00-18:30

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 光琳の間

「シリコンフォトリソ技術を用いた小型光トランシーバ

「IOCore」の事業への取り組み、及び将来の展望」

アイオーコア(株) 取締役 CTO 藏田 和彦 氏

参加者数：19名

#### ② 「第35回アクションセミナー」を開催

開催日時：2023年11月27日(月)17:00-18:30

開催場所：日本教育会館 9 階（喜山倶楽部 光琳の間）

「マイクロ LED の最新動向」

㈱産業タイムズ社 取締役副社長／特別編集委員

津村 明宏 氏

参加者数：17 名

## （2）戦略マップ委員会（委員長：齋藤昇三 代表理事・会長）

NEDIA ならではの戦略マップの策定を 2015 年から開始し、2023 年度は委員会を 10 回開催し、未来社会の変化を見据え、社会に貢献する電子デバイス技術 をテーマに議論を進め、2023 年度は 8 冊目となる「電子デバイス戦略マップ 2023-2024」を 2023 年 7 月 20 日に発行しました。書籍コードを登録し、正式の書籍としています。

2023 年度の委員会活動としては、コロナで変化する未来社会をイメージアップし、未来社会を創る注目技術を整理、評価し、未来社会の実現につなげる技術を明らかにすることを主眼として進め、引き続き「電子デバイス戦略マップ 2024-2025」を発行することを目指して検討してきました。まとめる方向については、2024 年新春セミナーで報告し、また新春記者会見でプレスリリースしました。

また、会員を含めた関係者に活用を図っていただくために、2021 年度から説明会を企画しており、第 3 回説明会を 2024 年 1 月 15 日(月)に実施しました。

## （3）新事業創生委員会（委員長：南 洋一 理事・副会長）

NEDIA としての新事業及び会員の中での新事業創生に向けた活動を行っています。

- ① 電子デバイス分野にアプローチするエヌディアイ㈱を 2018 年 6 月 21 日に設立し、2021 年度からは電子デバイス研修講座の運営委託を行っています。
- ② 会員間の業種間のマッチングの仕組みの検討を進めています。

## （4）電子デバイス・応用システム設計環境委員会（委員長：小篠隆宏 理事）

電子デバイス、応用システムの設計活動が活発になり、電子デバイス産業の拡大に寄与するような枠組みを検討中です。

## （5）コンプライアンス委員会（委員長：漆原育子(アーズ㈱)）

独占禁止法遵守等の法令への対応及び知的所有権についての対応を検討していきます。知的所有権については、知的所有権分野の会員の連携を模索しています。

## （6）展博委員会（委員長：井内伸哉(㈱インターテック販売)）

展博委員会は、NEDIA に関連した展示会への対応を行いました。（4. 項参照）

## （7）人材育成研修委員会（委員長：西村光太郎 理事）

世の中の変化が急速に進み必要なスキルが変化しつつある中で、電子デバイスに携わる方々が持つと効果的なアイテムを選定し教育研修していくことで、会員及び電子デバイス産業関連の発展に寄与することを目的として電子デバイス研修講座の拡充・体系化の推進を行なっています。

2023 年度は、電子デバイス研修講座(基礎編)、(中級編)、(専門編)パワーエレクトロニクスをそれぞれ 1 回実施し、(入門編)を 3 回実施しました。

(中級編)の位置づけが分かりにくいため、(特別編 A)(特別編 B)への改組を推進しました。



## 7. 本部イベント

### (1) 第10回通常社員総会・10周年記念講演会・交流会

「第10回通常社員総会」を2023年5月29日(月)14:00-14:45に喜山倶楽部飛鳥の間で行いました。新型コロナウイルスも5類移行となったため、会場での通常の方式で実施しました。正会員数168のうち出席30、委任状提出66件で合計96の過半数の出席を得て、齋藤昇三代表理事・会長を議長として飛鳥の間で開始しました。報告・説明は前面スクリーンにスライドを投射して行いました。

第1号議案：「2022年度事業報告(案)について」及び第2号議案：「2022年度決算報告(案)・監査報告」、第3号議案：「2023年度事業計画(案)」、第4号議案：「2023年度収支予算(案)」及び第5号議案：「役員改選」の説明を行い、質疑の後、第1号議案・第2号議案、第3号議案・第4号議案及び第5号議案について採決を行い、委任状で賛同いただいた正会員および出席正会員の過半数の賛成を得て原案どおり承認されました。最後に齋藤議長より会員及び役員に対してNEDIA発展のために協力を要請して社員総会はとどこおりなく閉会となりました。社員総会終了後、WEB会議併用方式で臨時理事会を開催し、代表理事・会長に齋藤昇三理事を選出し、その他の理事の役職等を決定しました。

第10回となる記念となる通常総会ですので、通常社員総会後に記念講演会を実施しました。

＜記念講演会＞を実施しました。

開催日時：5月29日(月)15:05-17:00 第10回通常社員総会の直後

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部「飛鳥の間」

15:05-15:10 開催挨拶 NEDIA 代表理事・会長

齋藤 昇三 氏

15:10-16:05 「ハイテク産業の明るい未来」

三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)

インベストメントリサーチ部 シニアアナリスト

和田木 哲哉 氏

16:05-17:00 「いつまでも熱風！ どこまでもニッポン！！」

～NEDIA 10年間の歩みと明日にかけるロードマップ～

(株)産業タイムズ社 代表取締役会長

泉谷 渉 氏

＜交流会＞を実施しました。

記念講演会参加者数：99名（交流会参加者数：83名）

### (2) 10周年記念2024年新春セミナー・新年会の開催

10周年記念2024年の新春セミナー・新年会を2024年1月22日(月)に学士会館で開催しました。

10周年記念の新春セミナー・新年会となりますので、会員から協賛金を募り、鏡開き及び大ビンゴ大会を開催しました。1月1日に能登半島地震が起こり大きな被害に見舞われました。協賛金の一部を石川県への支援金とさせていただきます。

#### 「10周年記念2024年新春セミナー・新年会」を開催

##### ●10周年記念新春セミナー

日時：2024年1月22日(月) 13:00-16:50

場所：学士会館202号室

東京都千代田区神田錦町3-28 TEL.03-3292-5936 (代表)

13:00-13:05 「開会挨拶」代表理事・会長 齋藤昇三 氏

13:05-14:00 「2024年は電子デバイスの爆裂成長の始まり

～半導体はAI、メタバースがリード役になる！！」

(株)産業タイムズ社 代表取締役会長	泉谷 渉 氏
14:00-14:25 「 NEDIA の 10 年を振り返って 」	
代表理事・会長	齋藤昇三 氏
14:40-15:50 「 電子デバイス戦略マップ 2024-2025 の概要 」	
代表理事・会長、戦略マップ委員会委員長	齋藤昇三 氏
戦略マップ委員会 戦略マップ主筆	松本哲郎 氏
15:50-16:45 「 異次元の成長期に入る半導体産業を予測する 」	
インフォマインテリジェンス合同会社	
シニア コンサルティング ディレクター	南川 明 氏
16:45-16:50 閉会挨拶： 理事・副会長	南 洋一 氏

### ●10周年記念新年会

日時：2024年1月22日(月) 17:00-18:40

場所：学士会館 210 号室

10周年記念の鏡開き及び大ビンゴ大会を実施

参加者：セミナー：128名、交流会：121名

### ●新春記者会見

日時：2024年1月22日(月) 16:20-16:50 学士会館 306 号室にて記者会見

齋藤昇三 代表理事・会長から 2024 年度の抱負及び電子デバイス戦略マップ 2024-2025 について説明しました。

### ●10周年記念功績賞

電子デバイスフォーラム京都 プログラム委員長 中村 孝 殿

電子デバイス戦略マップ委員会 主筆 松本 哲郎 殿

電子デバイス研修講座 人材育成研修委員長 西村 光太郎 殿

## 8. 情報提供事業

### (1) 定期刊行物の発行

NEDIA マガジンを、2023年7月(第25号)、2024年1月(第26号：10周年記念号)の2回発行しました。会員名簿を2023年7月に発行しました。

NEDIA マガジン、会員名簿への広告募集を行い、会員から申しいただきました。

### (2) ホームページの展開・メール配信

NEDIA のホームページは随時変更して会員に新しい情報を提供しました。

HP における広告の募集を行い、会員から申しいただきました。

セミナー等のイベント情報及び関係省庁からの通達等を適宜、会員にメール配信しました。

## 9. 事務局報告

### (1) 会員状況(2024年3月31日現在)

正会員：171 賛助会員：24 個人会員：64 会員総数：259

2013年9月30日 NEDIA 発足時の198会員から61会員(31%)増加しました。

### (2) 事務局の状況 専任：2名、嘱託：1名、ボランティア：1名

### (3) 理事・監事・顧問(2024年3月31日現在)

理事：21名、監事：2名、顧問：3名

<理事・監事・顧問>

\*は常勤役員

役職名	氏名	所属
理事(代表理事・会長)	齋藤 昇三	(株)デバイス&システム・プラットフォーム開発センター 代表取締役会長 兼 社長
理事(副会長)	泉谷 渉	(株)産業タイムズ社 代表取締役会長
理事(副会長)	岩坪 浩	(株)村田製作所 取締役 専務執行役員 技術・事業開発本部 本部長 兼 医療・ヘルスケア機器事業担当役員
理事(副会長、ベンチャー部会長)	押部 弘	(株)東設 代表取締役社長
理事(副会長)	瀬川 澄江	東京エレクトロン(株) 執行役員 Corporate Innovation本部 本部長代理 兼 開発戦略部 部長
理事(副会長)	鶴丸 哲哉	元 ルネサスエレクトロニクス(株)代表取締役会長
理事(副会長、 装置・保守部会長)	南 洋一	リソテックジャパン(株)代表取締役
理事(常務理事・事務局長、 デバイス部会長)	周藤 仁吉*	(一社)日本電子デバイス産業協会
理事(東北 NEDIA 副代表)	相原 正巳	アルプスアルパイン(株) 執行役員 コンポーネント2 事業担当 兼 技術副担当
理事 (ベンチャー部会副部会長)	小篠 隆宏	ケイレックス・テクノロジー(株) 代表取締役社長
理事(東北 NEDIA 代表)	川添 良幸	東北大学未来科学技術共同研究センター シニアリサーチ・フェロー
理事	北村 隆幸	メテック(株) 代表取締役社長
理事(九州 NEDIA 代表)	櫻井 一郎	櫻井精技(株) 代表取締役社長
理事(デバイス部会副部会長)	佐々木 元	(株)メガチップス 執行役員 ASIC 事業部 副事業部長
理事(材料部品部会長)	佐藤 中則	(株)野毛電気工業 代表取締役社長
理事	清水 孝雄	アーズ(株) 代表取締役社長
理事	千葉 芳弘	日総工産(株) 人材育成部 副部長
理事(関西 NEDIA 代表、 デバイス部会副部会長)	中村 孝	ネクスファイ・テクノロジー(株) 代表取締役社長、 大阪大学 教授
理事	西村 光太郎	(株)プリバテック 相談役
理事	南部 修太郎	(株)アセット・ウィッツ 代表取締役
理事(九州 NEDIA 副代表)	三宅 賢治	オフィス三宅 代表
監事	釜原 紘一	元 三菱電機(株)半導体マーケティング 部長
監事	川端 章夫	(株)ドットインターナショナル 代表取締役社長
顧問	飯塚 哲哉	ザインエレクトロニクス(株) 代表取締役会長
顧問	河崎 達夫	元 (株)システム LSI センター 代表取締役
顧問	垂井 康夫	東京農工大学 名誉教授

2023年度

# 決算報告書

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

## 目 次

I 貸借対照表

II 正味財産増減計算書

III 財務諸表に対する注記

IV 附属明細書

V 財産目録

千代田区神田佐久間町2-13  
一般社団法人日本電子デバイス産業協会

# I 貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現 金 預 金	7,698,935	6,643,513	1,055,422
棚 卸 資 産	2,294,433	1,573,912	720,521
前 払 金	907,997	505,397	402,600
未 収 金	26,500	184,000	△ 157,500
流動資産合計	10,927,865	8,906,822	2,021,043
2.固定資産			
(1)特定資産			
退職給付引当資産	1,590,000	1,590,000	0
新事業創生基金	1,000,000	1,000,000	0
特定資産合計	2,590,000	2,590,000	0
(2)その他固定資産			
什 器 備 品	3	3	0
敷 金	533,336	533,336	0
投資有価証券	100,000	100,000	0
その他固定資産合計	633,339	633,339	0
固定資産合計	3,223,339	3,223,339	0
資産合計	14,151,204	12,130,161	2,021,043
II 負債の部			
1.流動負債			
未 払 金	4,961	4,292	669
前 受 金	2,371,400	3,308,200	△ 936,800
預 り 金	85,893	83,295	2,598
流動負債合計	2,462,254	3,395,787	△ 933,533
2.固定負債			
退職給付引当金	1,590,000	1,590,000	0
固定負債合計	1,590,000	1,590,000	0
負債合計	4,052,254	4,985,787	△ 933,533
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2.一般正味財産			
一般正味財産合計	10,098,950	7,144,374	2,954,576
正味財産合計	10,098,950	7,144,374	2,954,576
負債及び正味財産合計	14,151,204	12,130,161	2,021,043

## II 正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1.経常増減の部</b>			
(1)経常収益			
入会金・会費収入	[ 24,955,229 ]	[ 24,288,561 ]	[ 666,668 ]
入会金・会費収入	24,955,229	24,288,561	666,668
<b>事業収入①</b>	[ 4,431,962 ]	[ 3,787,924 ]	[ 644,038 ]
セミナー事業	2,414,957	1,688,500	726,457
共同研究及び会員交流	1,108,000	1,106,000	2,000
新規事業	909,005	993,424	△ 84,419
<b>事業収入②</b>	[ 10,292,885 ]	[ 8,214,340 ]	[ 2,078,545 ]
フォーラム参加費	7,576,925	6,360,840	1,216,085
展示会出展費	2,123,000	1,655,500	467,500
協賛会	504,960	0	504,960
その他	88,000	198,000	△ 110,000
<b>事業収入③</b>	[ 3,653,775 ]	[ 5,906,450 ]	[ △ 2,252,675 ]
入門講座	1,936,500	894,000	1,042,500
基礎講座	598,950	1,962,300	△ 1,363,350
中級講座	541,725	730,950	△ 189,225
専門講座	576,600	2,319,200	△ 1,742,600
受取利息	[ 174 ]	[ 186 ]	[ △ 12 ]
雑収益	[ 710,000 ]	[ 0 ]	[ 710,000 ]
<b>経常収益計</b>	44,044,025	42,197,461	1,846,564
(2)経常費用			
<b>事業費①</b>	[ 17,245,063 ]	[ 15,675,297 ]	[ 1,569,766 ]
セミナー事業(本部)	467,758	538,913	△ 71,155
セミナー事業(部会及び地域)	1,757,123	1,540,933	216,190
情報提供事業	1,143,952	1,066,355	77,597
共同研究及び技術・人・事業の交流機会提供	5,222,098	4,263,196	958,902
ベンチャー事業環境改善	153,962	0	153,962
新規事業開発費	678,627	760,285	△ 81,658
人材育成研修	5,326	0	5,326
支払手数料	73,960	62,150	11,810
給料手当	6,494,600	6,326,600	168,000
通信費	349,350	342,700	6,650
事務消耗品費	20,840	12,165	8,675
業務委託費	609,400	586,400	23,000
その他	268,067	175,600	92,467
<b>事業費②</b>	[ 9,222,547 ]	[ 8,912,991 ]	[ 309,556 ]
<b>事業運営費</b>	( 8,784,223 )	( 8,671,320 )	( 112,903 )
会場費用	2,959,587	2,596,302	363,285
ブース装飾費	1,420,916	1,357,565	63,351
講師謝礼	1,602,725	1,930,763	△ 328,038
予稿集印刷費	1,672,000	1,727,000	△ 55,000
WEB製作費	66,000	60,000	6,000
広告費	110,000	110,000	0
運営スタッフ費	133,702	259,209	△ 125,507
委員会スタッフ費	819,293	530,248	289,045
その他	0	100,233	△ 100,233
<b>事業管理費</b>	( 438,324 )	( 241,671 )	( 196,653 )
事務局員給与	4,698	0	4,698
旅費・交通費	283,524	131,391	152,133
通信費	48,532	63,974	△ 15,442
事務消耗品費	13,490	12,540	950
会議・交際費	41,960	0	41,960
支払手数料	46,120	32,566	13,554
租税公課	0	1,200	△ 1,200
<b>事業費③</b>	[ 4,367,205 ]	[ 10,452,918 ]	[ △ 6,085,713 ]
<b>事業運営費</b>	( 3,277,733 )	( 7,311,053 )	( △ 4,033,320 )
会場費用	1,101,360	3,250,202	△ 2,148,842
講師謝礼	1,240,412	2,188,550	△ 948,138
テキスト印刷費	771,480	1,577,820	△ 806,340
運営スタッフ費	0	135,844	△ 135,844
委員会スタッフ費	164,481	158,637	5,844
<b>事業管理費</b>	( 1,089,472 )	( 3,141,865 )	( △ 2,052,393 )
旅費・交通費	30,948	76,076	△ 45,128
通信費	52,359	61,818	△ 9,459
事務消耗品費	2,666	18,281	△ 15,615
会議・交際費	179	0	179
支払手数料	8,320	14,810	△ 6,490
業務委託費	995,000	2,970,000	△ 1,975,000
その他	0	880	△ 880
<b>管理費</b>	[ 10,242,634 ]	[ 10,034,077 ]	[ 208,557 ]
事務局員給与	2,570,400	2,509,424	60,976
旅費・交通費	871,802	870,353	1,449
事務所家賃	1,906,671	1,760,004	146,667
光熱費	174,251	146,119	28,132
通信費	170,053	187,999	△ 17,946
事務消耗品費	62,089	99,011	△ 36,922
会議・交際費	446,620	449,261	△ 2,641
支払手数料	26,296	22,968	3,328
租税公課	195,621	709,423	△ 513,802
法定福利費	855,244	994,973	△ 139,729
業務委託費	1,615,048	1,615,048	0
支払寄附金	300,000	0	300,000
その他	1,048,539	669,494	379,045
<b>経常費用計</b>	41,077,449	45,075,283	△ 3,997,834
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	2,966,576	△ 2,877,822	5,844,398
<b>評価損益等計</b>	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	2,966,576	△ 2,877,822	5,844,398
<b>2.経常外増減の部</b>			
(1)経常外収益			
<b>経常外収益計</b>	0	0	0
(2)経常外費用			
<b>徴収不能額</b>	12,000	24,000	△ 12,000
<b>経常外費用計</b>	12,000	24,000	△ 12,000
<b>当期経常外増減額</b>	△ 12,000	△ 24,000	12,000
<b>当期一般正味財産増減額</b>	2,954,576	△ 2,901,822	5,856,398
<b>一般正味財産期首残高</b>	7,144,374	10,046,196	△ 2,901,822
<b>一般正味財産期末残高</b>	10,098,950	7,144,374	2,954,576
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
<b>当期指定正味財産増減額</b>	0	0	0
<b>指定正味財産期首残高</b>	0	0	0
<b>指定正味財産期末残高</b>	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	10,098,950	7,144,374	2,954,576



### Ⅲ 財務諸表に対する注記

#### 1.継続組織の前提に関する注記

該当なし。

#### 2.重要な会計方針

##### (1)有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券……すべて時価がないため、移動平均法による原価法を採用している。

##### (2)棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、最終仕入原価法を採用している。

##### (3)固定資産の減価償却の方法

什器備品については、定額法を採用している。

##### (4)引当金の会計処理

退職給付引当金…職員に対する退職金の支払に備えたものとして計上している。

##### (5)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用している。

#### 3.重要な会計方針の変更

該当なし。

#### 4.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	1,590,000	0	0	1,590,000
新事業創生基金	1,000,000	0	0	1,000,000
合 計	2,590,000	0	0	2,590,000

#### 5.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対する額)
特定資産				
退職給付引当資産	1,590,000	-	-	( 1,590,000 )
新事業創生基金	1,000,000	( - )	( 1,000,000 )	( - )
合 計	2,590,000	( 0 )	( 1,000,000 )	( 1,590,000 )

#### 6.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	458,950	458,947	3
合 計	458,950	458,947	3

#### 7.その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態及び正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項 資産除去債務に関する注記

当法人は事務所に係る不動産賃貸借契約に基づき、退去時における現状回復義務を有している。

しかし、当該債務に関する賃借資産の使用期間が明確でなく、かつ、将来移転等の予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができない。

そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

## IV 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、省略。

### 2. 引当金の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、省略。

# V 財産目録

2024年3月31日現在

(単位：円)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量数	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金	手元保管	運転資金として	214,026
		普通預金		
		みずほ銀行日本橋支店	運転資金として	2,848,168
		三菱UFJ銀行室町支店	運転資金として	4,636,741
	棚卸資産	在庫として1163部	戦略MAP2015 (20冊×@1,386) 戦略MAP2017 (20冊×@1,132) 戦略MAP2018 (20冊×@1,226) 戦略MAP2019 (20冊×@1,368) 戦略MAP2020-2021 (20冊×@1,514) 戦略MAP2021-2022 (120冊×@1,907) 戦略MAP2022-2023 (360冊×@1,951) 戦略MAP2023-2024 (583冊×@2,111)	2,294,433
	前払金	(有)コウチャに対するもの等	公式サイト更新代行費用、事務局の4月家賃他	907,997
	未収金	2件	入門講座他	26,500
流動資産合計				10,927,865
(固定資産)				
特定資産	退職給付引当資産	みずほ銀行日本橋支店	職員の退職金の支払いに備えたもの	1,590,000
	新事業創生基金	みずほ銀行日本橋支店	将来的な新事業の実施を見据えたもの	1,000,000
その他固定資産	什器備品	ネット配信用パソコン他	継続事業、その他事業及び法人の管理運営の用に供している	3
	敷金	竹内ビルに対するもの	事務局に係るもの	533,336
	投資有価証券		エヌディアイ(株)	100,000
固定資産合計				3,223,339
資産合計				14,151,204
(流動負債)				
	未払金		ヤマト運輸配送料	4,961
	前受金	会員に対するもの等	2023年度会費他	2,371,400
	預り金	従業員及び講師に対するもの	源泉所得税、住民税	85,893
流動負債合計				2,462,254
(固定負債)				
	退職給付引当金	従業員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,590,000
固定負債合計				1,590,000
負債合計				4,052,254
正味財産				10,098,950

2024年4月18日

一般社団法人 日本電子デバイス産業協会  
代表理事・会長 齋藤 昇三 殿

一般社団法人 日本電子デバイス産業協会

監事 釜原 紘一

監事 川端 章夫

## 監査報告書

私たち監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、書類等を閲覧し、当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

一般社団法人日本電子デバイス産業協会 2024年度事業計画(案)  
(2024年4月1日～2025年3月31日)

一般社団法人日本電子デバイス産業協会

2024年度は、ウクライナの問題に加えて中東情勢緊迫化もあり地政学的なリスクの長期化も予想され、世界経済の見通しにはまだ不透明感が残ると思われま

す。電子デバイスにおいては、DX、GXが同時進行する社会に本格的に移行するという見方もあり、また、経済安全保障に向けて半導体の競争力復活のための具体策も出てきており、電子デバイスの大きな成長が期待されています。

こういった中で、NEDIAは次の10年に向けてスタートしますが、外部環境の変化に注意をはらいながら、オールジャパン体制で横断的な種々の業種の有機的連携を深め、草の根的にオープンイノベーションを進めていくという初志の施策を推進し、初志の具現化を図り新たな時代に向けて、着実に発展していく基盤の構築を目指す年度にしていきたいと考えます。

そのために、300会員を目指した会員拡大を進めるとともにオールジャパン体制の確立、「第11回電子デバイスフォーラム京都」の開催、「電子デバイス戦略マップ2024-2025」の発行・説明会の実施と活用、電子デバイス研修講座のニーズに対応した積極的運営、新事業創生活動等により横断的戦略機能を発揮していきます。会員の皆様とのコミュニケーションの場を増やすことも考え、さらに会員支援及び産業界支援につながる諸施策を着実に推進していきます。これを実現していくためには、財務基盤の整備が重要で、新事業による収入増を図るとともに、イベント等の収支確保等を図り、期末正味財産残高を積み増していきたく、会員の皆様方のご協力・ご支援をお願い致します。

## 1. 組織の拡大

### (1) 会員数の拡大

2023年度末に海外を含めて300会員を目指します。業務執行理事を中心とした役員全員で、会員拡大活動を強力に推進していきます。

### (2) オールジャパン体制の推進

- ① 現在の4拠点(東北、関東、関西、九州)のさらなる活性化及び各地域での日本半導体復活の動きに連携していきます。
- ② アプリ分野も含めNEDIAのカバー分野における業界団体等との連携強化、各地域の団体及び各業界の団体との連携を進めていきます。

## 2. 第11回電子デバイスフォーラム京都の開催

- ①2023年度に引き続き2024年度も電子デバイスフォーラム京都を開催します。

開催予定日：2024年10月31日(木)、11月1日(金)、場所：京都リサーチパーク(KRP)

- ②組織委員長：齋藤昇三 代表理事・会長、プログラム委員長：中村孝 理事・関西 NEDIA 代表の体制で進めます。
- ③ 第10回の成功点、反省点を踏まえて、魅力あるプログラムを策定しプロモートの仕方等も改善し参加者数を確保するとともに、費用削減を図り、収支プラスを確実に確保する施策を推進します。

- ④ 第 10 回は Teams による WEB 配信を併用して実施しましたが、第 11 回も引き続き WEB 配信を併用し、遠隔地からの参加の利便を図っていきます。
- ⑤ 展示会は、第 10 回に引き続き「車載電子デバイスパビリオン」の実施を含め魅力ある会場設置を企画し、収入確保を図ります。

### 3. 「電子デバイス戦略マップ 2024-2025」の発行及び活用

(戦略マップ委員会(委員長：齋藤昇三 代表理事・会長))

- ① 2023 年度から 2024 年度にかけてまとめた「電子デバイス戦略マップ 2024-2025」のレポートを 2024 年 7 月に発行し、会員その他に参照いただき、それぞれで活用いただけるようにします。2023 年度に引き続き戦略マップの説明会を実施し、関係者に戦略マップの内容を理解いただくことによって、戦略マップを役立てていきたいと考えています。
- ② 戦略マップは 2016 年から 8 冊発行してきましたが、9 冊目となる電子デバイス戦略マップ 2024-2025 は、アフターコロナで変化する未来社会をイメージアップし、未来社会を創る技術・事業を俯瞰し、電子デバイス産業が目指す新しい価値で作る未来社会を可視化し、未来社会の実現につながる注目技術の評価をきちんと行い、明確にしていくことを主眼としてまとめています。
- ③ 戦略マップの評価の高い技術の中から、2024 年度は 2023 年度に引き続き AI 関連のテーマを選び、デバイス部会、新事業創生委員会等と分担して研究会・勉強会の具体的立ち上げを推進していきたく考えています。さらにテーマの深堀りを行うとともに解を具体的に求めていき、会員の新事業創生への寄与を図る方向で行きたく考えております。
- ④ NEDIA で書籍コードをとり、アマゾン等での販売を可能にして、外部への販売増を目指します。
- ⑤ 2024 年度の委員会活動は、「電子デバイス戦略マップ 2025-2026」の発行に向けて引き続き未来社会(2030 年)をテーマに、その実現に向け、バックキャストで整理し、変化する未来社会のイメージアップを図り、未来社会の実現につながる技術を提示していきます。

### 4. 「電子デバイス研修講座」のニーズに合った戦略的運営の推進

(人材育成研修委員会(委員長：西村光太郎 理事))

電子デバイス産業にかかわる人材のスキルアップ・底上げをしていくことは、電子デバイス産業発展のための重要事項ですので、それを研修講座等で強力に推進していきます。2019 年 11 月に電子デバイス研修講座(基礎編)を立ち上げ、2020 年度に(中級編)を加え、2021 年度に(専門編)も立ち上げ、2022 年度は入門講座の立ち上げも含めさらなる体系化・拡充を進め、ほぼ目指した体系を完成させてきましたが、受講者のニーズは日本の電子デバイス産業復活の動きの中で変化しつつあり、今後のニーズの変化を注視しながら、NEDIA ならではの効果的な運営をしていくことを目指します。

- ① 電子デバイス研修講座の有効な運営の推進  
電子デバイス研修講座について、基礎編・中級編、専門編に加え入門編を、世の中のニーズに合わせた有効な運営を行っていきます。中級編の立ち位置が分かりにくいという面があり、2024 年度は中級編を特別編 A、特別編 B に改組して実施していきます。
- ② 2020 年度～2022 年度は新型コロナウイルス感染防止対応として Teams による WEB 配信または WEB 配信併用で電子デバイス研修講座を実施しましたが、2023 年度に引き続き 2024 年度も WEB 配信併用を実施し、特に遠隔地からの参加の利便を図っていきます。



- ③ 人材育成研修委員会としては、有効な運営方法の確立・実施に注力する必要があるとあり、事務局も含めた負担軽減のために、入門編、基礎編・特別編 A・B・専門編の運営を新事業創生委員会で設立した NDI(株)に委託し、全体的な効率向上を図っていきます。
- ④ 大学及び他団体との連携を推進  
優秀な技術者に電子デバイス産業にかかわっていただくことは、電子デバイス産業発展にとって非常に重要です。大学及び他団体との連携により、参加いただける可能性を高める施策の検討を進めます。九州経済産業局主導で立ち上げる半導体人材育成の産官学のコンソーシアムと連携していくことも考えていきます。  
また、専門講座③のミニマルファブによる体験講座は工程の一部であり、フル工程の体験講座については、(一社)ミニマルファブ推進機構と共同での開催を検討していきます。
- ⑤ 電子デバイス産業にかかわる資格・検定・リカレント教育等へのアプローチ  
中期的事項として、資格・検定・リカレント教育等の実現に向けて、検討を続けていきたいと考えています。

## 5. 新たな事業の立ち上げ（新事業創生委員会(委員長：南洋一 理事・副会長)

- ① NEDIA の新事業を立ち上げることで、事業収入を得て、NEDIA の財務基盤の強化を図ります。
- ② 幅広い会員及び非会員も含めたニーズ・シーズをすり合わせる機会を作り、会員相互の連携から新しい製品・事業を創生する手助けをします。

## 6. 展示会への出展（展博委員会(委員長：井内伸哉 (株)インターテック販売 顧問)

- ① セミコンジャパン 2024、Medtec Japan2024 は例年通りに出展していく予定です。
- ② NEDIA としての出展の企画・運営を行うとともに、NEDIA ブースでの会員のポスター展示、PR 資料の取り置き等で会員の PR のお手伝いをします。
- ③ 電子デバイスフォーラム京都のように展示を含んだイベントの展示部分の企画・運営を行います。
- ④ 「電子デバイスフォーラム京都」に加え、新しいロケーションでの数年後の開催の検討をします。

## 7. 部会・地域活動

### (1) ベンチャー部会（部会長：押部弘 理事・副会長)

- ① 毎回 10～30 人程度の参加でベンチャー交流会を適宜開催し、会員の紹介・交流会等で密なコミュニケーションを行い、会員間の具体的な連携等で新しい展開を図っていきます。
- ② ベンチャー会員の支援についての施策を推進します。法務相談会、税務相談会等、必要なアイテムを徐々に拡大します。
- ③ 国・自治体等のベンチャー企業・中小企業支援のプログラムの説明会・紹介を行います。
- ④ 新事業創生委員会・事務局等と連携し、ベンチャー会員と大企業との橋渡しのお手伝いをします。
- ⑤ 会員間のコミュニケーションを高めるために、ゴルフコンペ、納涼会の開催をします。

### (2) 装置・保守部会（部会長：南洋一 理事・副会長)

- ① 会員間のコミュニケーション向上のためのイベント開催を検討していきます。
- ② 会員及び非会員からのニーズの紹介およびそれに対する会員の対応のつなぎ等、必要に応じて技術情報交換会・見学会を企画していきます。

### (3) 材料部品部会（部会長：佐藤中則 理事)

部会にとって必要な情報を選択し、それに沿った勉強会を企画・運営することによって、会員の情報取得に寄与します。

**(4) デバイス部会 (部会長：周藤仁吉 常務理事・事務局長)**

- ①NEDIA の中核の電子デバイス分野での活動を行います。
- ②電子デバイスの分野で重要課題についてテーマを定め、研究会方式で解を見つけていくことを考えます。2024 年度は電子デバイス戦略マップから AI 関連をテーマに選択し、研究会・勉強会・プロジェクトを構成して推進します。

**(5) 九州 NEDIA (代表：櫻井一郎 理事)**

- ①NEDIA Day 九州を企画・運営します。2024 年度は長崎での開催を企画しています。
- ②九州における NEDIA の趣旨に賛同する団体との連携を進めます。

**(6) 関西 NEDIA (代表：中村 孝 理事)**

- ①NEDIA Day 関西を大阪及び有効な場所で企画・運営します。
- ②関西における NEDIA の趣旨に賛同する団体との連携を進めます。
- ③可能な範囲で電子デバイスフォーラム京都のサポートを行います。
- ④SSIS との共催シンポジウムを大阪で開催します。

**(7) 東北 NEDIA (代表：川添良幸 理事)**

- ①NEDIA Day 東北を仙台及び東北各県で企画・運営します。2024 年度は、宮城県での開催を企画しています。
- ②東北における NEDIA の趣旨に賛同する団体との連携を進めます。

**8. 委員会活動の推進**

**(1) アクションセミナー委員会 (委員長：甕秀樹(株)産業タイムズ社)**

- ①アクションセミナーについて、旬な分野・テーマを選択し、会員に新情報を提供していきます。
- ②アクションセミナーならではの運営について検討していき、適宜実施していきます、

**(3) 成長産業交流委員会 (委員長：齋藤昇三 代表理事・会長)**

- ①他団体との連携及びアライアンス等の検討・実施を行います。
- ②経済産業省とは緊密に連携をとって、提案、受託及びプロジェクトへの参画を行います。
- ③NEDO とは緊密に連携して、プロジェクトへの参画及び戦略マップでの協調を図ります。
- ④SSIS とは、連携可能なアイテムにおいて連携していきます。
- ⑤SEMI ジャパン等とは展示会を通じた連携を進めます。

**(3) 電子デバイス・応用システム設計環境委員会 (委員長：小篠隆宏 理事)**

電子デバイス、応用システムの設計活動において、電子デバイス産業の拡大に寄与する設計環境の枠組みを検討していきます。

**(4) コンプライアンス委員会 (委員長：漆原育子 (アーズ(株) 取締役)**

- ①新事業立ち上げにあたって独禁法等の法的課題を顧問弁護士と連携して対応していきます。

②ベンチャー部会と連携して、知的所有権でのサポートの進め方の検討をしていきます。

**(5) IR 広報委員会 (委員長：周藤仁吉 常務理事・事務局長)**

①HP の改善を継続して進めます。

②HP、NEDIA マガジンでの広告について、新事業創生委員会と連携して進めます。

③NEDIA 施策で広報を行ったが良いものについては、積極的にアプローチします。

**9. 情報提供事業**

(1) 定期刊行物の発行

NEDIA マガジン：年 2 回発行の予定です。

会員名簿の発行：2024 年版を発行します。

(2) ホームページの運営：継続して、内容の拡充を図ってまいります。

イベント情報及び関係省庁の通達等は適宜会員にメール配信します。

**10. 事務局・顧問体制**

(1) 事務局は、専任 2 名、嘱託 1 名、ボランティア 1 名体制で推進します。

(2) 全顧問は任期途中につき、飯塚哲哉、河崎達夫、垂井康夫の 3 名を留任とします。

# 2024年度正味財産増減計算書(予算案)

第4号議案

2024年4月1日～2025年3月31日

(単位:円)

科 目	23年度予算(A)	23年度実績(B)	24年度予算案(C)	予算比 (C/A)	実績比 (C/B)
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1. 経常増減の部</b>					
<b>(1) 経常収益</b>					
入金金・会費収入	25,100,000	24,955,229	25,250,000	100.6%	101.2%
入会金	300,000	80,000	300,000	100.0%	375.0%
特別会費収入	200,000	0	100,000	50.0%	
正会員会費収入	22,500,000	22,765,229	22,700,000	100.9%	99.7%
個人会費収入	1,300,000	1,360,000	1,400,000	107.7%	102.9%
個人会費収入	800,000	750,000	750,000	93.8%	100.0%
事業収益①	4,550,000	4,431,962	5,050,000	111.0%	113.9%
事業提供	2,000,000	2,414,957	2,500,000	125.0%	103.5%
事業委託	50,000	0	50,000	100.0%	
事業参加費	1,500,000	1,108,000	1,500,000	100.0%	135.4%
事業参加費	1,000,000	909,005	1,000,000	100.0%	110.0%
事業収益②	9,300,000	10,292,885	9,750,000	104.8%	94.7%
事業参加費	7,200,000	7,576,925	7,600,000	105.6%	100.3%
事業参加費	1,750,000	2,123,000	2,000,000	114.3%	94.2%
事業参加費	0	504,960	0		
事業参加費	350,000	88,000	150,000	42.9%	170.5%
事業収益③	7,000,000	3,653,775	5,100,000	72.9%	139.6%
事業参加費	1,300,000	1,936,500	2,200,000	169.2%	113.6%
事業参加費	2,200,000	598,950	750,000	34.1%	125.2%
事業参加費	1,000,000	541,725	750,000	75.0%	138.4%
事業参加費	2,500,000	576,600	1,400,000	56.0%	242.8%
受取利息	1,000	174	1,000	100.0%	574.7%
受取利息	100,000	710,000	100,000	100.0%	
<b>経常収益計</b>	<b>46,051,000</b>	<b>44,044,025</b>	<b>45,251,000</b>	<b>98.3%</b>	<b>102.7%</b>
<b>(2) 経常費用</b>					
事業費用①	17,765,000	17,245,063	18,465,000	103.9%	107.1%
事業費用	600,000	467,758	600,000	100.0%	128.3%
事業費用	1,500,000	1,757,123	1,500,000	100.0%	85.4%
事業費用	1,300,000	1,143,952	1,300,000	100.0%	113.6%
事業費用	3,500,000	5,222,098	4,000,000	114.3%	76.6%
事業費用	100,000	153,962	150,000	150.0%	97.4%
事業費用	1,300,000	683,953	1,300,000	100.0%	190.1%
事業費用	100,000	0	100,000	100.0%	
事業費用	100,000	73,960	100,000	100.0%	135.2%
事業費用	7,900,000	6,494,600	7,900,000	100.0%	121.6%
事業費用	300,000	349,350	300,000	100.0%	85.9%
事業費用	15,000	20,840	15,000	100.0%	72.0%
事業費用	600,000	609,400	750,000	125.0%	123.1%
事業費用	450,000	268,067	450,000	100.0%	167.9%
事業費用②	8,980,000	9,222,547	9,110,000	101.4%	98.8%
事業費用	8,550,000	8,784,223	8,650,000	101.2%	98.5%
事業費用	2,600,000	2,959,587	2,600,000	100.0%	87.9%
事業費用	1,350,000	1,420,916	1,450,000	107.4%	102.0%
事業費用	1,900,000	1,602,725	1,700,000	89.5%	106.1%
事業費用	1,700,000	1,672,000	1,700,000	100.0%	101.7%
事業費用	70,000	66,000	70,000	100.0%	106.1%
事業費用	110,000	110,000	110,000	100.0%	100.0%
事業費用	200,000	133,702	150,000	75.0%	112.2%
事業費用	600,000	819,293	850,000	141.7%	103.7%
事業費用	20,000	0	20,000	100.0%	
事業費用	430,000	438,324	460,000	107.0%	104.9%
事業費用	0	4,698	0		
事業費用	250,000	283,524	300,000	120.0%	105.8%
事業費用	50,000	48,532	30,000	60.0%	61.8%
事業費用	10,000	13,490	10,000	100.0%	74.1%
事業費用	60,000	41,960	60,000	100.0%	143.0%
事業費用	50,000	46,120	50,000	100.0%	108.4%
事業費用	0	0	0		
事業費用	10,000	0	10,000	100.0%	
事業費用③	5,175,000	4,367,205	4,960,000	95.8%	113.6%
事業費用	3,460,000	3,277,733	3,675,000	106.2%	112.1%
事業費用	1,500,000	1,101,360	1,250,000	83.3%	113.5%
事業費用	1,000,000	1,240,412	1,350,000	135.0%	108.8%
事業費用	800,000	771,480	950,000	118.8%	123.1%
事業費用	50,000	0	20,000	40.0%	
事業費用	100,000	164,481	100,000	100.0%	60.8%
事業費用	10,000	0	5,000	50.0%	
事業費用	1,715,000	1,089,472	1,285,000	74.9%	117.9%
事業費用	30,000	30,948	30,000	100.0%	96.9%
事業費用	100,000	52,359	70,000	70.0%	133.7%
事業費用	10,000	2,666	5,000	50.0%	187.5%
事業費用	50,000	179	10,000	20.0%	558.6%
事業費用	20,000	8,320	15,000	75.0%	180.3%
事業費用	1,500,000	995,000	1,150,000	76.7%	115.6%
事業費用	5,000	0	5,000	100.0%	
管理費用	11,270,000	10,242,634	11,270,000	100.0%	110.0%
管理費用	3,200,000	2,570,400	3,200,000	100.0%	100.0%
管理費用	1,300,000	871,802	1,300,000	100.0%	149.1%
管理費用	2,000,000	1,906,671	2,000,000	100.0%	104.9%
管理費用	120,000	174,251	120,000	100.0%	68.9%
管理費用	150,000	170,053	150,000	100.0%	88.2%
管理費用	100,000	62,089	100,000	100.0%	161.1%
管理費用	300,000	446,620	300,000	100.0%	67.2%
管理費用	50,000	26,296	50,000	100.0%	190.1%
管理費用	800,000	195,621	800,000	100.0%	409.0%
管理費用	950,000	855,244	950,000	100.0%	111.1%
管理費用	1,600,000	1,615,048	1,600,000	100.0%	99.1%
管理費用	700,000	1,348,539	700,000	100.0%	51.9%
<b>経常費用計</b>	<b>43,190,000</b>	<b>41,077,449</b>	<b>43,805,000</b>	<b>101.4%</b>	<b>106.6%</b>
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>2,861,000</b>	<b>2,966,576</b>	<b>1,446,000</b>	<b>50.5%</b>	<b>48.7%</b>
当期経常増減額	2,861,000	2,966,576	1,446,000	50.5%	48.9%
当期一般正味財産増減額	2,861,000	2,954,576	1,446,000	50.5%	48.9%
一般正味財産期首残高	7,144,374	7,144,374	10,098,950	141.4%	141.4%
一般正味財産期末残高	10,005,374	10,098,950	11,544,950	115.4%	114.3%
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		
指定正味財産期首残高	0	0	0		
指定正味財産期末残高	0	0	0		
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>10,005,374</b>	<b>10,098,950</b>	<b>11,544,950</b>	<b>115.4%</b>	<b>114.3%</b>

## 役員体制について

現在の理事21名及び監事2名は全員任期途中であり、以下の理事・監事が全員留任となります。

理事：留任 21名、監事：留任 2名

(50音順)

役職名	氏名		所属
理事	相原 正巳	留任	アルプスアルパイン(株) 執行役員 コンポーネント2事業担当 兼 技術副担当
理事	泉谷 渉	留任	(株)産業タイムズ社 代表取締役会長
理事	岩坪 浩	留任	(株)村田製作所 取締役 専務執行役員 技術・事業開発本部 本部長 兼 医療・ヘルスケア機器事業担当役員
理事	小篠 隆宏	留任	ケイレックス・テクノロジー(株) 代表取締役社長
理事	押部 弘	留任	(株)東設 代表取締役社長
理事	川添 良幸	留任	東北大学未来科学技術共同研究センター シニアリサーチ・フェロー
理事	北村 隆幸	留任	メテック(株) 代表取締役社長
理事	齋藤 昇三	留任	(株)デバイス&システム・プラットフォーム開発センター 代表取締役会長 兼 社長
理事	櫻井 一郎	留任	櫻井精技(株) 代表取締役社長
理事	佐々木 元	留任	(株)メガチップス 執行役員 ASIC事業部 副事業部長
理事	佐藤 中則	留任	(株)野毛電気工業 代表取締役社長
理事	清水 孝雄	留任	アーズ(株) 代表取締役社長
理事	周藤 仁吉	留任	(一社)日本電子デバイス産業協会
理事	瀬川 澄江	留任	東京エレクトロン(株) 執行役員 Corporate Innovation本部 本部長代理 兼 開発戦略部 部長
理事	千葉 芳弘	留任	日総工産(株) 人財育成部 ゼネラルマネージャー
理事	鶴丸 哲哉	留任	元 ルネサスエレクトロニクス(株) 代表取締役会長
理事	中村 孝	留任	ネクスファイ・テクノロジー(株) 代表取締役社長、大阪大学 教授
理事	西村 光太郎	留任	(株)プリバテック 相談役
理事	南部 修太郎	留任	(株)アセット・ウィッツ 代表取締役
理事	南 洋一	留任	リソテックジャパン(株) 代表取締役
理事	三宅 賢治	留任	オフィス三宅 代表
監事	釜原 紘一	留任	元 三菱電機(株) 半導体マーケティング部長
監事	川端 章夫	留任	(株)ドットインターナショナル 代表取締役社長